

## 笠縫小学校 第2学年 学年通信

No.9 2022年 11月4日(金)



### 分散人権参観ありがとうございました

毎年行っている人権学習を今年は、分散参観でご覧いただきました。「人権」とは、一人ひとりが生まれたときから持っている「自分らしく生きる」権利のことです。みんな生まれたときから「自分らしく生きていい」とされています。みんながみんな違うように、全部が同じ人など誰一人いません。一人ひとりの違いを認めたり、自分や友達のよいところを見つけたりして、それぞれが大切な存在であることを知ってほしいと思っています。

2年生の子どもたちは、「人権」という言葉を知っていますが、その言葉からどんなことを人権というのかイメージすることは難しいです。そこで、2つの教材で人を大切にすることについて、考えました。子どもたちの学習の感想をご覧ください。

水曜日に、「しっぽのないさる」という教材を使い、違いがあっても相手の立場に立ち、思いやりをもって、やさしく接することについて学びました。



#### 子どもたちの感想より…友だちを思いやるってどういうことかな？…

- 友だちの気持ちを考えたり、わかろうとしたりすること。
- 友だちが悲しい思いや、いやな思いをしているときほっておかないこと。
- できないことがあっても、一緒にできるように考えてあげること。
- 人の悲しさに気づき、その悲しい気もちがなくなるように一緒に考えて、助け合うこと。
- 違うところがあっても、仲間だし、仲間外しにしないこと。

#### 子どもたちの感想より…どの友だちとも同じようになかよくするってどういうことかな？…

- じぶんが言われたらいやな言い方をしないで、やさしい気もちでつたえる。
- みんなが楽しめるようにくふうする。
- 同じことでも優しく言うようにする。
- 相手の気もちを考えて、きつい言葉で伝えず、人によって、言い方を変えない。

金曜日に「ドッジボール」という教材を使い、誰に対しても公平な態度で接しようとする大切さについて学びました。

